

「あってはならない」事件・事故

銀行主導の不正融資やデータ隠ぺいも

企業不祥事などのコンプライアンス動向

新年度が始まった4月から3カ月間、大阪では初めて震度6弱を観測した6月18日の大地震を挟み、人命が軽んじられた事件や事故が相次いだ。

初の米朝首脳会談が6月12日に実現、課題山積の通常国会は会期を32日間延長、前年17年来の学校法人「森友学園」「加計学園」の認可・国有地売却を巡る政府、行政の決済文書隠ぺい、改ざん関連で国会中心に追及が続いた。

その中で大阪地検特捜部は5月31日、虚偽公文書作成容疑などで告発された佐川宣寿前国税庁長官(国有地売却当時の財務省理財局長)、売却価格8億円余値引きを巡る背任容疑で告発された迫田英典元国税庁長官(売却交渉時の理財局長)らを不起訴とした。

終戦直後に制定され、21世紀直前の1996年まで障害者らへの強制的な不妊手術が旧優生保護法の下で半世紀近くも行われてきたことで、全国各地から被害者が相次いで名乗り出ている。国をはじめ自治体、医学界とも人権侵害への配慮ができなかった“国ぐるみの人権無視”が今暴かれようとしている。

6月の大阪府北部地震では、登校中の小4

女児が建築基準法違反のブロック塀の下敷きとなり死亡。東京では5歳の女児が“しつけ”と称し、父親から課せられたひらがな練習ノートに「もうおねがいゆるして」と懸命につづったが、十分な食事も与えられず、虐待、放置されて死んだ。親の非情はもちろんだが、児童相談所間の支援引き継ぎや連携の食い違いも指摘されている。北九州では父親が4歳の息子をテレビ台の引き出しに腰を折り曲げて押し込み死亡させた。いずれも「あってはならない」事件や事故である。

新潟では下校途中の小2女児を近所の青年が連れ去って殺害した上、遺体を鉄路に放置して列車にひかせた。また東海道新幹線車内で乗客の2女性に切り付け、助けに入った男性になったを振るって殺害した無職青年の異常な行動が、事件と隣り合わせの社会を浮き彫りに。

企業不祥事では、CT検査でがん転移を見落とし放置されて死亡した医療ミス、あわや大事故の航空機や新幹線の危機事例が相次いだ。最も信用を大事にすべき銀行がシェアハウス物件所有者の融資申請書を白紙委任で提出させたり、通帳の預金残高などを改ざんするという、信用を踏みにじる事件も起きている。

企業不祥事などのコンプライアンス動向 (2018年4月～6月) ACBEEまとめ

川崎市社会福祉事業団	4月13日	発達障害のある子どもたちが通う市南部地域療育センターの指定管理者となっている同事業団が、退職者の氏名や印鑑を使って不正に子どもの個別支援計画を作成、2017年4月～18年2月までに約8千万円の給付費を不正請求していた。
ソフトバンク	4月18日	ソフトバンクグループ(SBG、東京都港区)が、2016年3月期までの4年間で計939億円ほどの申告漏れを東京国税局から指摘されたことが判明。1千億円近い規模の申告漏れは極めて異例。SBGが買収した海外企業が租税回避地に持つ子会社の所得が対象で、追徴課税額は約37億円に。
防衛省 沖縄防衛局	4月26日	米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の名護市辺野古沖への移設工事に関し、海上警備を請け負った会社が警備人数の費用を水増しした問題で、工事受注の大成建設側に沖縄防衛局が水増しの通報者を特定できる形で、内部告発の内容を渡していたことが分かった。
大分市教委 神戸市	4月26日	<ul style="list-style-type: none"> 市立中の男子生徒が22日、男性教諭に首をつかまれ失神した問題を公表せず、発覚後も報道各社にうその説明をしていた。「コトが大きくなるのを心配した。組織的な隠ぺいと思われるも仕方ない」と教育長は発言。 2016年に市立中3年の女子生徒が自殺した問題で、「破棄された」とされていた友人らへの聞き取りメモが見つかり、市長が再調査実施を表明。

(無断での引用・転載を禁じます)

SUBARU (スバル)	4月27日	新車の燃費や排ガスの検査データ改ざんについて調査報告書を公表。改ざんは903台の車両で確認され、2002年ごろには始まっていた可能性が高いとした。不正は検査員を統括する班長の指示で組織ぐるみだったと認定。5月16日、国交省が本社へ立ち入り検査。
川崎重工業	5月22日	JR西日本の新幹線のぞみ台車亀裂(17年12月)で、車両部門責任者を更迭。2007年に台車を製造した際に、枠の鋼材を最も薄い箇所では厚さが7mm以上とする設計基準より2.3mm薄い4.7mmに削り込まれていたことが判明。亀裂が生じた台車以外にも100台で厚さ7mm未満に削り込まれた箇所が見つかった。
日本航空	5月24日	熊本空港を離陸したボーイング767機のエンジン部品136個が落下、空港近くの益城町の34カ所で見つかる。医院や車のガラス窓などが破損し、物置や車庫が損傷した。機体の主翼フラップや水平尾翼のブレード(羽根)にも破片による損傷が出た重大インシデント。その後の調査で高圧タービンの破損が確認された。エンジンは米GE社製で、日航を含め計88機が搭載。
千葉大病院 静岡県立がん センター 兵庫県立がん センター 横浜市大病院	6月8日 ~26日	千葉:コンピューター断層撮影装置(CT)検査をした患者のがんを見落とし2人が死亡。診療科の複数の医師が自身の専門領域だけに着目、他の部位のがんを見落とし▽静岡:抗がん剤治療患者の肝機能障害で血液検査での数値異常に担当医師が気づかず死亡▽兵庫:子宮頸がん手術をした女性患者のCT画像診断で肺への転移を見落とし、3年間放置▽横浜:放射線科技師が腎臓にがんの陰影を発見しながら、求められた心臓画像のみを担当医に提供。腎臓の画像に触れた診断報告書を医師が気づかず患者は死亡。
JR西日本	6月14日	山陽新幹線博多発東京行きのぞみ176号(乗客約200人)が博多―小倉間で人をはね、運転士は「ドン」という異常音を感知したものの過去に小動物に当たったときの経験から、運転指令に報告せず運行を継続。先頭車両のボンネットが割れたまま走行していた。17年末の台車亀裂問題に続く失態。
日本郵便 DM発送代行会 社「ティーティ ーオー」	6月22日	ダイレクトメール(DM)の発送料金を不正に安くした見返りに業者から接待を受けた茨城・土浦郵便局の元課長ら2人が加重収賄容疑で、代行会社の元役員らが贈賄容疑で逮捕された。代行会社は正規料金の1割程度しか支払わず、不正な割引による日本郵便の損害額は6億円に上るとみられている。
スルガ銀行	6月26日	女性専用シェアハウス「かぼちゃの馬車」運営会社スマートデイズの経営破綻問題で、物件所有者に対する融資に当たり、行員ら33人が通帳の預金残高などの審査書類を改ざんした疑いで告発された。現金引き出しの日付や金額を空欄にした申請伝票を作るよう指示した疑いも。億単位のローンを組んでしまい、経営破綻したことによる自殺などへと波紋が広がっている。
日立化成	6月29日	産業用鉛蓄電池の一部製品6万台で検査データをねつ造していたと発表。納入先は500社に上り、複数の原発にも。納入先と決めた方法での検査をせず、検査成績書にも架空のデータを記入し出荷していた。不正は少なくとも7年間に及ぶ。2度の内部監査でも発覚しなかった。

本資料に関する一切の権利は経営倫理フォーラムに帰属します。その全部または一部を無断で引用・転載することを禁じます。イントラネットへの転載や研修・講演などで本資料をご利用の際は、ACBEE事務局にご連絡・ご相談ください(ACBEE団体会員は、事務局への申請のみで本資料の使用料免除)。